

彰化 にしえの港・鹿港

テーマ:歴史



かつて天然の良港を有していたことから、台湾府城が置かれた台南と現在の台北市萬華に並び、18世紀後半から19世紀後半にかけて台湾第2番目の商業中心地として全盛期を迎えた古都。街には、国家1級古跡の龍山寺を筆頭に城隍廟、新祖宮、文開書院、文武廟、三山國王廟文祠、天后宮、朝天宮をはじめとする由緒ある寺廟が多く点在。数限りない故事が語り継がれ、鹿港の町全体が野外博物館のようだと称されている。

点在する多くの寺や廟は参拝する人で連日にぎわい、名物を販売する屋台や郷土料理の散策も欠かせない。

企画視点

主要都市からのアクセス



主要都市:台中

目的地までバスで片道およそ1時間30分

駐車場から目的地まで駐車場:なし

下車後、入口まで徒歩で約1分/平坦

周辺の地図

旅行会社の企画視点



トイレやカフェ(目的地の徒歩圏):

トイレなし カフェ:あり(1軒程度)

宿泊施設(目的地の徒歩圏):あり(1軒程度)

2~3時間程度の自由行動:あり

お勧めの撮影スポット・近隣の観光スポットなど:なし

地域資源の視点



街道・絶景:生活の営みが美しい・建築美・景観美
地域色豊かな食文化・イベント・祭りなど:なし

関連情報リンク先

トラベルビジョン <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=82663>

台湾交通部観光局 <https://jp.taiwan.net.tw/m1.aspx?sNo=0003113>

問い合わせ先 / 画像提供:台湾観光協会